

の直接対決でどういった相撲を見せるか、非常に楽しみだ。

大関大神楽は前半戦は相手と相撲を取りながら最後は自分十分の体勢になって勝つという「見せる取り口」だったが、中盤からは相手を寄せつけない一方的な相撲で7連勝を飾った。

「大神楽がこの強さを続けられれば4横綱もあるんじゃないか？」とまだ早いかもしれないが、そういった声も始める相撲っぷりだ。そのためには3横綱に勝って全勝優勝するくらいは必要だ。毎回参加の理事の中でただ一人「横綱会」に入らずにいるだけに「何とか大神楽を横綱に」と願う磯ノ海親方。残り4日間が大事な相撲になる。

平幕では、入幕2場所目の宇治家と新入幕の大渡海が1敗と、横綱大関の優勝争いに一枚加わっている。

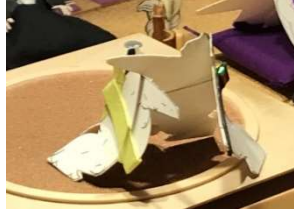
新入幕の場所では6勝5敗と勝ち越したものの目立たなかった宇治家だが、今場所は初日から6連勝とし、中日は平幕全勝対決で大渡海に勝って土つかずで勝ち越しを決めた。七日目に勝ノ川に敗れたが、横綱大関が星のつぶし合いとなれば、宇治家にもチャンスがあるかもしれない。

大渡海は中日に宇治家に敗れたものの、七日目に三役経験の実力者の英役に勝って6勝目を上げた。新入幕はまだ未知数のところはあるが、四股名を渡海から大渡海に改名した効果か、宇治家同様、上位の星次第ではチャンスがある。

宇治家、大渡海とも八日目から上位との対戦も予想され、この壁を乗り越えていけるかが注目だ。



英 筏●(寄り切り)○大渡海



宇治家○(寄り切り)●大渡海

今場所は、横綱大関が圧倒的な強さを誇り横綱大関総当たりで優勝を争うというかつてない理想的な形の場所となった。残すはあと4日。果たして、誰がこの優勝争いを制するのか。最高に盛り上がりを見せる次の回の本場所は3月18日に開催の予定。今から開催が待ち遠しい。(錦風)

### 十両は若雲山が単独全勝

前回五日目まで終えたところで5戦全勝は若雲山ただ一人。「残り6日で4勝して9勝まではもっていきなさい」と鹿賀乃戸親方も期待をして迎えた中日、七日目。勢いそのままに駒波を退け、勝ち越しを決めての七日目は1敗で追う蛮国と対戦。

「ここまでくると勢いだけじゃなくて、確実に強くなっているよね」と錦風親方。その期待通りに体差差で上回る蛮国を左差しから寄り切って7連勝とした。「もう負ける相手はいないんじゃないの？」と磯ノ海親方にも言われ、「いやまだまだ分からないよ」と手綱を締め、浮かれることのない鹿賀乃戸親方。

若雲山を1敗で追っていた蛮国が2敗に後退し、同じく2敗で並ぶのは桃乃洲と西の富士の二人。桃乃洲は一見非力のようにも見え攻めもあるオーラウイングの力士である。桜吹雪にはタイミングよくのど輪を入れ、磯自慢には引き技と多彩さを見せた。勝ち越しまであと一つとし、念願の幕内昇進も視界に入った。



磯自慢●(引き落とし)○桃乃洲



蛮 国●(寄り切り)○若雲山



若雲山○(引き落とし)●駒 波

桃山部屋の幕内力士となると、桃山三銃士と言われた佳乃嵐、鼎瀉、綴海以外では、太刀原が1場所在籍したのみとなるだけに、このチャンスを活かしたいところ。

十両5場所目の西の富士は十両の土俵にも馴染んできたか、本来の力を見せつつある。今場所での昇進は難しいが、残りは4日白星を重ねて来場所につなげたいところ。若雲山が万一失速するようなことがあれば、優勝争いを面白くしそうな存在となるだろう。

東筆頭の黒雲海が中日、七日目と連勝し4勝3敗と白星を先行させた。これで鹿賀乃戸部屋としては、若雲山部のダブル昇進の可能性も出そうない流れになってきた。しかしここまで十両勢の調子が良すぎると、逆に富士のことが心配になるように「大丈夫かなあ」とちょっと不安げな鹿賀乃戸だった。ともかく、若雲山がこのまま勝ち続け全勝優勝を成し遂げるのか、日増しに注目が集まってくる。

播磨屋部屋の鶴乃里が四日目から4連勝と盛り返して白星を先行させた。3連敗スタートで不安な立ち上がりだったが、これで親方もひとまず安心したところだろう。勝ち越しまではあと白星二つ何とか十両には踏みとどまりたいところだ。一方、英風が負け越しとなり、早くも陥落が決まってしまった。(勝間田)



鶴乃里○(引き落とし)●茅ヶ崎



寶 蔵●(押し倒し)○黒雲海

### 幕下は錦風勢が奮闘

幕下は三日目まで行われ、3連勝とした鹿麒麟、磯日ノ丸、洪野、逆馬山の4人が優勝をかけて争われることとなった。

東筆頭で早くも十両昇進を確実にした鹿麒麟。西旭と徳ノ富士を左差しから完璧に富土を切る相撲で、鹿賀乃戸親方も驚く一気の3連勝で勝ち越して見せた。強敵を破り今度は自信を持って十両の土俵でリベンジといきたいところだ。

磯日ノ丸は三日目に優勝候補の猿飛と対戦したが、上手く左を差した磯日ノ丸が勝利。152回場所以来の関取復帰をかけて、四日目は鹿麒麟との取組が予想される。



磯日丸○(寄り切り)●猿 飛



徳富士●(寄り切り)○鹿麒麟

### 朝日松理事長ラジオ生出演

朝日松理事長が2月28日(火)にTBSラジオ「パンサー向井の#ふらっと」の10時から「ドッキドキ!協会マッチング」というコーナーへ生出演した。

番組内容は、趣味が少ないパーソナリティのパンサー向井慧さんのために、特定の目的のために活動している協会や団体を番組内で紹介するというもの。向井さんに合う趣味を見つけてもらうのと、今回は日本紙相撲協会理事長が生出演するというものだ。

すっかりマスコミ慣れた理事長が紙相撲の魅力滔々と語った。中でも秀逸なのは黒船をヤンキースタジアムでスカウトしたという妄想エピソードとか。向井さん、同席したココリコの田中さんも感心しきりだった。

